プログラム名 (40字以内)	英国ロンドン、海外で働くとは		
団体名/所属	英国赤門学友会		
活動区分	国際交流体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	2人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	将来の海外勤務あるいは国際的な活躍を強く希望する大学院学生/学部学生		
活動期間	2026/2/16(月)~2/20(金) ※日曜日中にロンドン入りすることを推奨	主な活動予定場所	英国ロンドン及び近郊
プログラム実施の目的	現地の企業や大学等を訪問し、意見交換を通じて海外で働くことへの理解の深化をはかる		
具体的な内容(800字程度)	<p>・企業・政府機関・大学等を訪問し、スタッフとの交流、講演傾聴等を通して英国最先端のビジネス・研究事情に触れ、海外で働くことの魅力やチャレンジを考える。英国で働く東大卒業生をはじめ現地社員・職員等との交流を通じて、将来自分も海外で働くことを具体的にイメージする。</p> <p>・訪問予定企業は別途選定。近年の訪問実績は、在英日本大使館、JETRO、オックスフォード大学、欧州復興開発銀行(EBRD)、銀行(三井住友、三菱UFJ、みずほ等)、商社(三菱商事、三井物産、住友商事、伊藤忠商事等)、外資系コンサル(PwC、Brunswick等)、など。また、英国赤門学友会に所属する卒業生、留学生とのネットワーキングも実施。</p> <p>・本プログラムは、通常、非常に忙しい立場にあるOB/OGの無償の厚意・協力により成り立っています。皆「大学の後輩が、ロンドン(海外)で働きたいという強い熱意を持っているなら」という前提で貴重リソースを割くものなので、参加者に対しては当然の前提として①訪問先組織について事前に自分たちなりに研究をつし、②限られた時間における議論や質疑に積極的に参加することを期待します。</p> <p>5日間、大変密度の濃い活動です。観光を希望する場合は体験活動前後に別途個人の予定を組むことを勧めます。</p>		
【総額】参加するための費用	約260,000円； 航空券代は含みません。また、為替状況や宿泊施設のランク等により大きく変動します。少なくとも自己負担が発生するので応募前に十分に検討してください。 ※ 計算の前提：為替=192円/GBP インフレ率=2.6%(2024年12月時点予測)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	約150,000円； 低価格帯ホテルで6泊することを想定		
【内訳】参加するための費用(交通費)	約50,000円； 航空券代は含みません。毎日の電車やバスでの移動+オックスフォード遠征電車代を想定。		
【内訳】参加するための費用(その他)	約60,000円； 食費その他。この金額には以下を含みます (1) オックスフォード訪問ではカレッジ入場費とランチ交流会実費を現地で徴収します。 (2) 2025年1月8日から事前渡航認証システムETA (Electronic Travel Authorisation scheme)で各自ビザを事前に取得する必要があります。(£10, 2024年12月時点)		
奨励金額(予定)	80,000円		
備考	各種決済や公共交通機関利用にほぼ必須となることから、当地渡航に当たってはタッチ決済(コンタクトレス)のクレジットカードの作成・持参を勧めます。Visa またはMaster cardであればほぼ通用しますが、Amex、JCBは一部使用不可の場所があります。また、宿泊費はAirbnbなどを通じてアパートメントを利用する方が大幅に安いので、先輩体験者に相談することを勧めます。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://note.com/ukakamon/ https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/alumni/interact/list.html		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		